

環境改善活動に加えて、夏のライトダウンや各部局のエネルギー使用料の把握をしており、平成29年度は、ゴーヤーの収穫量の検討を行ったものである。平成29年度は、ゴーヤーの収穫量の検討を行ったものである。

エコオフィス推進事業
市役所の省エネ・節電対策とは、具体的にどのような対策をしているのか。新たに対策を始めたものはあるか。環境課長
例年対策としてKESマネジメントに基づく環境改善活動に加えて、夏のライトダウンや各部局のエネルギー使用料の把握をしており、平成29年度は、ゴーヤーの収穫量の検討を行ったものである。

可燃ごみ広域処理施設整備事業
敷地造成工事の基本設計の内容は、どのようなものか。
(ごみ広域推進課長)本市と枚方市で作成した基本計画で示された事項について整理し、たうえで現状の地形等制約を踏まえ、造成を計画し排水・土量の検討を行ったものである。

太陽発電等設備強化事業
設置箇所を増設した。
(環境課長)燃料電池システムや太陽発電などの活用はどうか。
設置には、設置できるよう進みたい。また、電力自由化による電力会社の選択、LEDの推進を進めたい。

不法投棄等監視体制強化事業
不法投棄が発見された場合、どのように処理されるのか。
(環境課長)パトロールにより発見した場合、投棄された場所の管理者に報告し処理を依頼する。市民等により通報があった場合、環境課職員が現地に赴き、投棄場所の確認のうえ、同様に管理者へ報告し処理を依頼する。

農地の新たな有効利用

問 農地の有効利用でのレモンプロジェクト事業によって収穫したものは、加工利用していく予定はないのか。
農業委員会事務局長 農産物加工を研究しているところであります。



レモン畑とレモン

自立支援は?

自立促進総合対策事業
事業の成果は。
(社会福祉課長)生活保護受給者や生活困難者に対する就労支援は、対象者の個々の能力や適性を判断する専門的知識が必要であるため、就労支援員を2名配置し、個々に応じた支援を行っている。

児童育成事業
児童虐待防止事業での研修会・講演会の参加人数は。
(子育て支援課長)研修会は、民生児童委員に対して行ったもので2回で計30名。講演会は、市社協主催で行ったもので100名であった。



新会
決算事業執行成果及び評価は

平成29年度決算及び事業執行、評価と結果の達成率は約97.4%。主な事業、職員を含む保育士の採用で待機児童を解消。民営の幼保連携認定、じも園の整備。防災広場の協議を進め、用地取得に着手。新市街地整備は、組合方式

線は、田辺中央北の新市街地整備と歩調を合わせ、大住工事と草内工事の連携強化に効果。大住工事拡大事業は順調に推移。



みらい京田辺
施設の老朽化に財源確保が急務

確保が急務である。市民税では給与所得者の納稅額が大きな割合を占めているが、人口減少に転じた時の財源確保が課題だ。緑泉園、碧水園に対する地元対策費、特別自治振興費は、平成29年度において合計約1385万円が支出され、この一般会計からの繰り出しは約8億2000万円となっている。持続可能な下水道会計の確立を求める。